

# 幼稚園・ 学校の取組み

教育委員会の取組み

区立幼稚園8園、小学校61校、中学校29校での取組み

子どもたち一人ひとりの心と体に、人生の糧となるかけがえのないレガシーを形成するため、区立幼稚園・小学校・中学校では、オリンピック・パラリンピック教育として、各教科等の学習内容とオリンピック・パラリンピックを関連付け、オリンピックとの交流やパラスポーツの体験など、様々な取組みを展開しました。

# 教育委員会の取組み

オリンピック・パラリンピック教育として、学習指導要領に示された各教科等の学習内容と、オリンピックやパラリンピックを関連付け、「4つのテーマ」(オリンピック・パラリンピックの精神、スポーツ、文化、環境)と「4つのアクション」[学ぶ(知る)、観る、する(体験・交流)、支える]を組み合わせた取組みを展開してまいりました。

また、世田谷区は、アメリカ合衆国のホストタウン・共生社会ホストタウンであり、競技会場として馬事公苑があることで、世田谷区を訪れる方を世田谷らしいおもてなしで迎える準備をしております。

共生社会の実現等に向け、家庭や地域等と連携を図りながら、東京2020大会以降も続けていく教育活動として、各幼稚園、学校が「学校2020レガシー」を設定しています。

## ●世田谷区の歌と踊り●

東京2020大会で世田谷区を訪れる方を踊りでおもてなしをするため、TRFのSAMさんにご協力をいただき、「21世紀せたがやのうた『おーい せたがや』」に、新たな振り付けをしたダンスを作りました。

大会本番に向けて、全区立幼稚園、学校の授業や行事で取組み、地域の行事でも披露をしました。



第42回 せたがや ふるさと区民まつり



第55回 区民スポーツまつり

## ●花のおもてなしプロジェクト●

令和元年度には、世田谷花卉園芸組合と連携し、全区立小学校で子ども達が花を育てました。その花々は、大蔵総合運動公園噴水広場や体育館前、温水プールをはじめ、用賀駅にも装飾され、訪れる方をおもてなししました。



## ●東京都教育委員会指定の推進校等●

### オリンピック・パラリンピック教育推進校

(平成28年度～令和3年度)全区立幼稚園、学校

### オリンピック・パラリンピック教育重点校

(平成28年度) 弦巻小学校、駒留中学校、三宿中学校

### 夢・未来プロジェクト実施校

(平成28年度) 多聞小学校、弦巻小学校、奥沢小学校、芦花小学校、駒留中学校

(平成29年度) 桜丘小学校、代沢小学校、三軒茶屋小学校、京西小学校、瀬田小学校、砧南小学校、武蔵丘小学校、祖師谷小学校

(平成30年度) 桜小学校、多聞小学校、弦巻小学校、赤堤小学校、玉川小学校、玉堤小学校、烏山小学校、山野小学校

(令和元年度) 用賀小学校、烏山小学校、塚戸小学校、祖師谷小学校、烏山北小学校、砧南小学校、希望丘小学校、船橋希望中学校

(令和2年度) 駒沢小学校、旭小学校、尾山台小学校、桜町小学校、喜多見小学校、桜丘中学校

(令和3年度) 中町幼稚園、駒繫小学校、山崎小学校、二子玉川小学校、弦巻中学校、千歳中学校

### パラリンピック競技応援校

(平成30年度) 東深沢中学校

(令和元年度) 九品仏小学校、東深沢中学校

### オリンピック・パラリンピック教育アワード校

(平成29年度) 桜小学校、弦巻小学校、八幡山小学校、芦花小学校、三宿中学校

(平成30年度) 弦巻小学校、八幡山小学校、芦花小学校、三宿中学校

(令和元年度) 桜小学校、弦巻小学校、八幡山小学校、芦花小学校、三宿中学校

(令和2年度) 太子堂小学校、池之上小学校、弦巻小学校、尾山台小学校、八幡山小学校、芦花小学校、三宿中学校

(令和3年度) 太子堂小学校、池之上小学校、弦巻小学校、京西小学校、尾山台小学校、三宿中学校

### 文化プログラム・学校連携事業実施校

(平成30年度) 船橋希望中学校

(令和元年度) 船橋希望中学校

(令和2年度)(令和3年度) 九品仏小学校、千歳小学校、船橋希望中学校、太子堂小学校、九品仏小学校、山野小学校、千歳小学校、弦巻中学校、玉川中学校、千歳中学校、船橋希望中学校

オリンピック・パラリンピック教育では、多彩な「4つのテーマ」×「4つのアクション」の取組みを展開する中で「ボランティアマインド」「障害者理解」「スポーツ志向」「日本人としての自覚と誇り」「豊かな国際感覚」の5つの資質の育成を期するとともに、環境保全に関わる取組みを各校が工夫して推進しました。

詳細については、次ページからの各幼稚園、学校の取組みをご覧ください。

# 区立幼稚園8園、小学校61校、

# 中学校29校での取組み

気運醸成・レガシー  
実現に向けた取組み

幼稚園・学校の取組み

新型コロナウイルス感染症  
の拡大・影響と対策

東京2020大会

アメリカ合衆国選手団  
トレーニングキャンプ

資料編

## 三島幼稚園

園長 平間 利明

三島幼稚園ではオリンピック・パラリンピック教育を通し、たくましい体の育成(運動遊び・体幹を鍛えるトレーニング・年間を通した運動遊びの取組みであるわくわくみしまパーク)、日本文化(茶道・和太鼓)、武道体験(空手・相撲)、スポーツ見学・体験(バトントワリング、ダブルダッチ・バドミントン)や講師の協力を得て保護者への講演などを行いました。また、保護者による出身国の紹介、世界ともだちプロジェクトなどで幼児が様々な国に興味をもつ機会を得ました。



出身国を紹介する保護者



オリンピック町田文彦さんのバドミントン体験

## 給田幼稚園

園長 飴家 純

遊びや生活の中で、幼児がオリンピック・パラリンピックに興味・関心をもてるよう、環境の工夫を大事にしてきました。新聞の切り抜きやマスコットの画像などを掲示しました。また、オリンピック・パラリンピック教育として選手をお迎えし、幼児が憧れの気持ちを育む機会をつくってきました。

2021年夏、東京2020オリンピック・パラリンピックをテレビで観戦した子ども達。そのことを生かし、話題を取り上げ、掲示物を見ながら話したり、遊具を工夫して設定したりしたことで、幼児の遊びにつながりました。



ハードルのピクトグラムがないことに気づき、自分で描き始めました。



ハードルの競技にチャレンジ。巧技台で表彰台も作りました。



アーチェリーに興味をもち、身近な材料で作りました。

気運醸成・レガシー  
実現に向けた取組み

幼稚園・学校の取組み

新型コロナウイルス感染症  
の拡大・影響と対策

東京2020大会

アメリカ合衆国選手団  
トレーニングキャンプ

資料編

## 中町幼稚園

園長 島崎 智恵

帝京大学チアリーディング部を迎え、本物の演技に触れることができました。本格的なパフォーマンスの迫力を幼児なりに実感し心動かされるとともに、部員と交流しながらリズムにのって声や動きを合わせる心地よさを感じ、運動への興味を高めました。

また、染織作家の村田先生ご指導の下、日本の伝統文化である染物を作る過程や染表現の美しさを体験し、染物の楽しさを感じることができました。幼児達は出来上がり喜び、自分の作品に愛着をもって身に付ける経験にもなりました。



親子で染めたTシャツを着て、運動会や周年行事。



憧れの眼差しを向け、気持ちが高まっていく子ども達。



園のマリーゴールドの花で草木染。6年生と一緒に。

## 多間幼稚園

園長 山路 智之

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、日本の伝統文化に親しめるよう、講師を招いて「たのしいけばな!」を行い、「オリ・パラニュース」として掲示したり、「オリ・パラ給食」で世界各国の料理を取り上げたりし、幼児が興味・関心をもてるようにしました。競技大会期間中は、預かり保育でオリンピック競技を観戦し、幼児もたくさんの歓声を送りました。競技大会後は、メダル獲得数・選手や各競技の写真掲示を行ったことで、大会を振り返り、話題にすることができました。



東京2020大会に関する掲示



「たのしいけばな!」の様子



「がんばれ、につぼん!」

## 松丘幼稚園

園長 芳賀 淳子

スポーツ志向の芽が育つよう、日々の園生活の中で体を動かすことを楽しみ、運動遊びへの興味や意欲が高まるよう取り組みました。身近な運動用具を使った体を動かす活動を毎月紹介したり、幼児が思わず“やってみよう”と思える運動環境を設定したりしました。講師を招聘し、動きの獲得の考え方や具体的な援助についての学びを深めました。それらにより、幼児が自ら伸び伸びと運動遊びを楽しむ姿や、諦めずに挑戦する意欲的な姿につながりました。



巧技台にラップの芯でぐらぐら橋



登り棒でゴムを張り、くもの巣



大きなシートめがけて玉投げ

## 砧幼稚園

園長 神田 光子

本園ではオリンピック・パラリンピックに対する幼児の関心が高まるよう大会や種目についての表示物や教材を工夫したり、オリンピック・パラリンピックの要素を取り入れた様々な運動遊びに取り組んだりして、オリンピック・パラリンピック教育の充実を図りました。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催時には、幼児同士で開会式や競技について話題にしたり、幼児が遊びの中でオリンピック・パラリンピックを再現して楽しんだりする姿が見られました。



表示物を見ながら競技について話している様子



聖火リレー点火セレモニーごっこの様子



オリンピック・パラリンピックごっこの様子

## 八幡山幼稚園

園長 山村 晃一

ドリブルデザイナー、体幹バランス指導者、ドラムサークルファシリテーター、和太鼓奏者、ハーブ演奏者、パントマイミストをお招きし、パフォーマンスを見たり一緒に遊んだりしたことで、スポーツ、世界や日本の伝統文化に親しみ楽しむ体験をすることができました。

また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会中の新聞の切り抜きを掲示したところ、幼児同士でテレビ観戦したことを話したり、「自分もやってみたい」と憧れの気持ちをもったりする様子が見られました。



みどりさんによるパントマイム



バルーンを使って遊ぼう



バルーンを膨らませているイメージで動いてみよう

## 桜丘幼稚園

園長 後藤 真司

茶道家・カス・和太鼓奏者・バトントワラー・音楽家・ウクレレ奏者・ダンサーなどとともに、日本の伝統文化、スポーツ、世界の音楽を楽しむ直接体験ができました。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後の記事を見て、「負けた時に相手チームが優しくしていて偉いね」「怪我をした時は痛くて辛かったと思うけれど頑張っていて凄い」など、スポーツは勝敗のみでないことを知ることができました。

絵本で飲み水のない国があることを知り、水を大切にすることができました。



大会の記事を見ながら



バトントワリング世界チャンピオン駒田圭佑選手達と



日本体育大学相撲部力士と

## 若林小学校

校長 小澤 孝弘

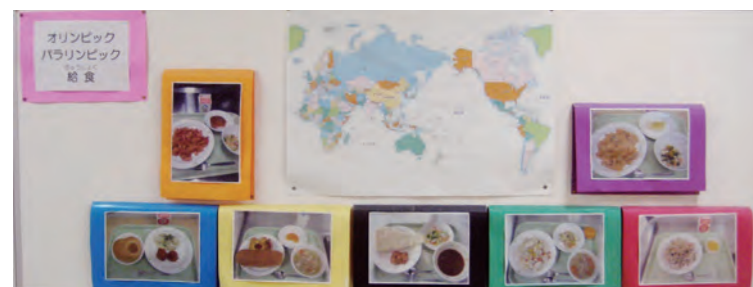
若林小学校では、オリンピックやパラリンピアンをはじめとする多くのゲストティーチャーを招き、実際に体験しながら、競技についての理解を深める活動を行ってきました。年に1度オリ・パラデーを設定し、道徳科の授業等でアスリートの生き方を学ぶ学習も実施してきました。また、オリンピック・パラリンピック給食を実施しました。給食メモや掲示物を作成し、世界の様々な国の料理や文化について紹介しました。



車いすバスケットボール授業



ブラインドサッカー授業



オリパラ給食の掲示物

## 三宿小学校

校長 篠 宏明

北京オリンピック陸上男子4×100mリレー銅メダリストの塚原直貴(つかはらなおき)選手にメダルを獲得した際の話や実技指導をしていただきました。塚原選手が走る姿を実際に見て、子ども達は「おー!!」「速いっ!!」などのたくさんの声を上げました。実技指導では、子ども達は、体幹を意識した練習に戸惑いながらも、オリンピックの練習を肌で感じる事ができました。有意義な時間となりました。



## 太子堂小学校

校長 鈴木 忍

本校は、オリンピック・パラリンピック教育アワード校(事業推進部門・環境部門)、文化プログラム・学校連携事業実施校(地域連携型)です。世界ギネス記録保持者によるなわとび教室、パラリンピック銀メダリストによる車いすバスケット教室、アラブ音楽の鑑賞教室やフラメンコ体験教室、校庭の樹木の枝を活用した華道教室など、スポーツや文化・芸術等の世界で活躍されている方々を講師に招いて、出会い・ふれあいのある授業を展開し、5つの資質を育てています。



世界ギネス記録保持者によるなわとび教室



パラリンピック銀メダリストによる車いすバスケット教室



校庭の樹木の枝を活用した華道教室

## 桜小学校

校長 西田 香

桜小学校では、スポーツ選手をお招きし、講演会を行ったり体験教室を行ったりしました。一例として、アテネ2004オリンピック柔道100kg超級金メダリスト 鈴木桂治さんからは、負けたときの悔しさを試合に臨む前に思い出すことを伺いました。アテネ2004パラリンピック・ロンドン2012パラリンピックの車いすマラソン選手の花岡伸和さんからは、「カッコいいボク」をイメージすることを教わりました。「さくらっ子体験教室」では、水球やサーフィンに挑戦し、スポーツ体験をしました。



車いすマラソンの車いす



柔道金メダリスト講演会



「水球」体験

## 桜丘小学校

校長 平松 有理子

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、「ボッチャ」「ブラインドサッカー」の体験をしたり、馬術競技への興味・関心を高めるため、馬と触れ合う体験をしたりしてきました。

各教科や給食で、他国の文化に触れたり、競技への理解を深める活動を取り入れたりし、より身近に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を感じることができました。

東京農業大学の留学生に来ていただき、交流を深める活動は、今後も継続し、豊かな国際感覚を育てていきます。



東京農業大学の留学生との交流



図作品で、オリパラ競技を制作



給食で各国の食文化を体感

## 代沢小学校

校長 諸角 哲男

馬事公苑で開催される馬術競技を知るきっかけとして、「馬!ふれあい出張授業」が行われました。馬術競技について知り、実際の馬と触れ合いました。美しい馬の姿や躍動感あふれる動きに子ども達は感嘆の声をあげ、自分達が住む地域で競技が行われることに誇らしさを抱きました。

他にも新体操のオリンピック選手やプロバスケットボール選手とも触れ合いました。選手の「夢に向かって」という言葉は子ども達の心に深く残りました。



## 多間小学校

校長 小泉 一弘

トップアスリートとの交流や競技体験を多く設け、スポーツ志向やオリンピック・パラリンピックへの関心を高めました。児童は、パラリンピックスポーツを体験したり、疑似体験したりすることで、障害者理解を深めました。

また、オリ・パラ給食を取り入れ、他国の食文化への興味・関心を高め、調べ学習につなげました。

運動に親しもうとする意欲を高めるために、オリンピック選手の記録を校内に掲示しました。すると、運動に親しもうとする多くの児童の姿が見られました。



車いすバスケットボール体験の様子



馬のふれあい体験



視覚障害疑似体験の様子

## 世田谷小学校

校長 中村 泰之

明治大学体育会競走部園原健弘監督と競走部の皆さんを講師にお招きし、陸上教室を行っています。これまで、短距離走のスタートの仕方やハードル走の指導をしていただきました。毎回、陸上競技の技術面とともに、「難しいことでも諦めずにやってみることが大切」と、子ども達のこれからの生き方に関わるようなお話をしてくださいます。運動会で走る子ども達のフォームが変わり、50メートル走の記録も向上しました。



園原監督の指導の様子



指導の様子



指導の様子

## 松沢小学校

校長 宇都宮 聡

4名のオリンピック(体操・陸上・水泳選手)と1名のパラリンピアン(水泳選手)の方から、スポーツの楽しさや夢の実現に向けた生き方などを教えていただきました。また、「日本人としての自覚と誇り」を育成するために、毎年3年生を対象に「和食器体験授業」を行っています。和食器に込められた思いや意味を知り、日本人が昔から大切にしてきた、相手をもてなす気持ちや物を大切に使う気持ちを育んできました。



オリンピックとの交流



パラリンピアンとの交流



和食器体験

## 駒沢小学校

校長 鈴木 聡

平成29年より「車いすラグビー」「車いすバスケットボール」「ボッチャ」などの選手をお招きし、パラスポーツを体験してきました。ほとんどの子どもが初めて経験するパラスポーツ。選手のプレーを目の当たりにし、迫力に圧倒されました。また実際に体験し、理解を深めることができました。パラスポーツの理念「できないことを数えるより、できることを数えよう」という、逆境にも負けない、本当の強さを子ども達を感じる機会となりました。



パラスポーツについて聞く様子



「車いすラグビー」を体験する様子

## 旭小学校

校長 菊地 まゆみ

旭小ではパラリンピックスポーツ体験やパラリンピアンとの交流を通してパラリンピックスポーツへの興味・関心を高め、障害者理解を深めてきました。事故や病気などで体が不自由になっても、夢に向かって努力し続ける選手の姿を見て、子ども達はあきらめないこと、そして可能性を信じることの大切さを学んでいました。また、スポーツのおもしろさや、障害のある人も同じようにスポーツを楽しむことができることを実感していました。



## 中里小学校

校長 谷戸 玲子

中里小学校は、オリンピック・パラリンピック教育として、アスリートを講師に招いたり、日本の文化芸術を学ぶ機会をつくりたりしてきました。

令和3年度には、4・5・6年生が東京2020パラリンピック競技大会の観戦をオンラインで行い、都内8校の児童と交流を深めました。7月には、保護者のアイデアで、多彩な種目に挑戦し、親子でスポーツを楽しむ『中里オリンピック』が開催されました。



中里オリンピック『紙ヒコーキ』



中里オリンピック『ボッチャ』



芸術家と子ども達『創作ダンス』

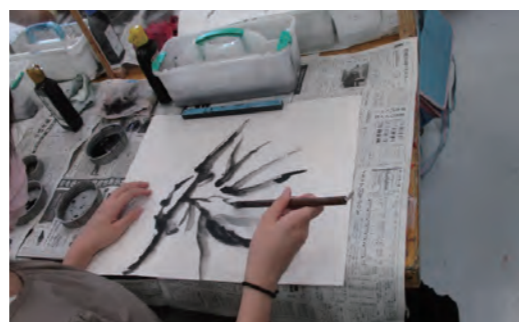
文化庁による『オーケストラを楽しもう』

## 松原小学校

校長 尾上 佐智子

自国の伝統文化を理解する学習として、講師の方からの手ほどきを受け、水墨画に挑戦しました。水と墨の筆への含ませ方や墨のにじみを生かして遠近を表す方法などを教わり、作品制作に取り組むことで水墨画の世界に触れることができました。

また、共生社会の実現に向けて、全ての人々が互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合う力を子どもたちが身に付けることができるよう、障害者理解の学習を行いました。手話講師の方からお話を伺い、手話や指文字などのコミュニケーション方法などを教えていただいたことは、当事者の思いへの理解を深め、支援について考えることにつながりました。



水墨画体験の授業の様子



手話講師の方による授業の様子

## 上北沢小学校

校長 山崎 智明

本校はオリンピック・パラリンピック教育を通して、自国や他国の多様な文化を学び理解を深める児童を育てることを目標にしています。

今年度(令和3年度)、教職員は外国語学習の研究に取り組んでいます。様々な学年の子ども達が、英語の学習だけでなく、オリンピック・パラリンピックに参加している他国の文化を学んだり、交流したりしてきました。子ども達は、世田谷区をキャンプ地にしていたアメリカ合衆国選手団への応援メッセージ動画や応援フラッグの作製に意欲的に取り組みました。



## 駒繫小学校

校長 新藤 直美

本校は、「なわとび運動」を要とし、年間を通じて運動の日常化を図っています。令和2年度は、2月に「なわとびパフォーマー」の生山ヒジキさんをお招きしました。各学年ごとに発達の段階に応じて、前跳び、あや跳び、二重跳びなどを分かりやすく指導をしていただきました。交流が終わった後は、指導を受けたこと、素晴らしいパフォーマンスを実際に見せていただいたことで、より意欲的になわとびに取り組む児童が増えました。

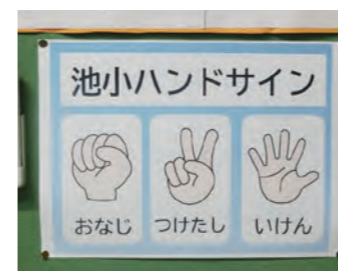


## 池之上小学校

校長 北村 雅之

オリンピック・パラリンピック教育で大切にしていることの1点目は「他者理解」です。自分も相手も同じように大切にするために、互いの話をよく聞き、誰もが安心して自分の考えを表現できる雰囲気全校でつくっています。子ども達は、「反応をしよう」を合言葉に、うなずいたりハンドサインで互いの思いを伝え合ったりするよさを感じています。

2点目は「国際理解」です。都立国際高校との交流から、世界の国や文化を学んでいます。高校生の豊かな国際感覚に、憧れや希望を抱きました。



全校で使用しているハンドサイン



挙手の際にハンドサインで示す様子



国際高校の生徒達との交流



## 経堂小学校

校長 安藤 由季子

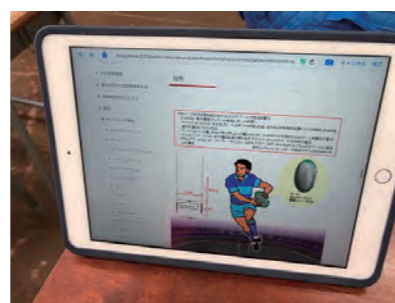
オリ・パラデーでは、低・中学年は、国際パラリンピック委員会公認教材「I'm POSSIBLE」を活用してパラリンピックの学習、高学年は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会公認のワークシートを活用して観戦事前学習を行いました。低・中学年では、パラリンピックの映像鑑賞、クイズなどを行い、児童からは活発に感想や考えを述べる声が上がりました。高学年では、児童が調べたい競技について課題を設定し、タブレットを活用して競技の概要をまとめました。



I'm POSSIBLE を活用したパラリンピック学習



車いすバスケットボールの映像鑑賞



競技についての調べ学習

## 弦巻小学校

校長 寺崎 晶子

4年生は、聴覚障害者のためのデフビーチバレーを体験しました。デフビーチバレー日本代表選手の方をゲストティーチャーに迎え、ルールの説明を聞いた後、ボールを使って楽しくトスやレシーブの練習をしました。その後、試合をしました。子ども達は目を輝かせて選手達とプレーを楽しみました。体験の後、教室で、2022年、ブラジルで行われるデフリンピック競技大会について、手話を交えて話をいただき、大会や選手の活躍への興味・関心を高めました。



## 山崎小学校

校長 小池 慎一

明治大学体育会競走部監督園原健弘先生をお招きし、走り方の指導をしていただきました。教師も子ども達もお話していただいた「諦めないことの大切さ」を心に留め、生活しています。走り方の実技指導では、体育的行事に向け、速く走るためのコツを教えてくださいました。

また、地域貢献として、地域の清掃活動にも取り組んでいます。「自分達の育った地域」を綺麗にする活動の中で、主体性や協調性、ボランティアマインドを学ぶ機会となっています。



## 中丸小学校

校長 飯塚 比呂志

東京2020パラリンピック競技大会の走高跳で4位入賞となった鈴木徹選手をお招きしました。鈴木選手は、高校生の時、ハンドボールで国民体育大会神奈川県大会に出場し、全国3位に入るとい実力の持ち主でしたが、高校3年の2月に交通事故に遭い右足を切断しました。その後、たくさんの方々のサポートのもと、走高跳でパラリンピックに出場するまでの力をつけました。様々な困難を乗り越えたお話をお伺いし、心の在り方・生き方について学ぶことができました。



## 代田小学校

校長 遠藤 三枝

オリンピック・パラリンピック教育の取組として、競技体験だけでなく、日本の伝統文化にも触れて学習しました。障害者の視点に立って、ボッチャ競技を体験しました。様々な活動を通して、障害のある大変さを学びました。百人一首大会などの昔遊び体験では、日本の伝統的な遊びを楽しんでいました。茶道教室では、姿勢を維持しながらお茶をたてる難しさを感じていました。子ども達は、様々な学習を通して、競技や日本の伝統文化のよさを味わいました。



ボッチャ競技体験の様子



昔遊び体験の様子

## 三軒茶屋小学校

校長 牧岡 正敏

「夢・未来プロジェクト」の取組として、北京オリンピック競技大会陸上400mリレー銀メダリストの高平慎士選手をお招きし、低学年の児童が走り方の指導をしていただきました。陸上競技オリンピックからのお話を真剣に聞いて頑張っていました。

また、ラグビーチームの「リコーブラックラムズ東京」をお招きし、3年生の児童がラグビー競技に取り組みました。とても体の大きい選手達に驚きながら、ラグビーの楽しさに触れることができました。



高平選手の話をしている様子



ラグビーに取り組んでいる様子

## 赤堤小学校

校長 小宮 豊

オリンピック・パラリンピック教育「夢・未来プロジェクト」として、ロンドンオリンピック陸上男子200m・男子4×400mリレー等に出場した高瀬慧選手をお招きしました。実技指導を通して、子ども達に陸上競技の楽しさを分かりやすく教えていただきました。また、自分が辛かったときに周囲に支えられて再チャレンジできたこと、自分の頑張り誰かが認めてくれていることを伝えていただきました。



## 松丘小学校

校長 臼井 潤一

「東京都オリンピック・パラリンピック教育推進支援事業」として、元プロ野球選手との交流、体操教室、陸上教室、いのちの教室などを実施しました。子ども達は学んだことをもとに、オリンピック・パラリンピックと関わらせた運動会スローガンを発案したり、学習発表会でSDGsについて発信したりしました。総合的な学習の時間に「おもてなし」の心と自分達にできることを考えたり、体育で自分の課題をつかみ練習方法を考えたり、学んだことを生かして、様々な活動を行っています。



校長 中里 慎太郎

## 城山小学校

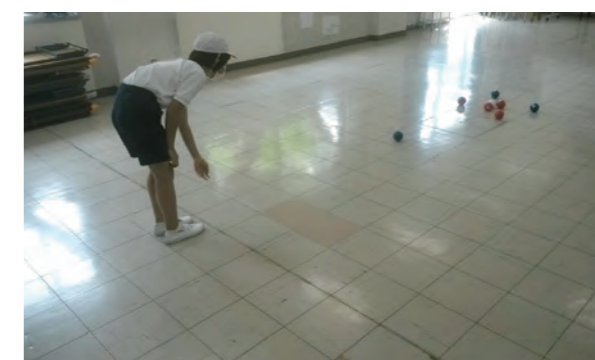
9月15日、城山小学校4年生はたくさんの外国人の先生に来てもらい、英語体験出張授業を受けました。買い物体験をしたり道案内の体験をしたりしながら、英語を使った新しい表現を学びました。英語を使ってプログラミングを学び、小さなロボットを動かす体験をした児童もいます。外国人の先生方との交流を通して、英語が全て理解できなくても、ジェスチャーや表情を使って心が通じ合うことを学びました。



校長 橋本 雅史

## 深沢小学校

パラリンピック競技種目「ボッチャ」の体験学習を行いました。子ども達は、投げたボールが狙いよりも行き過ぎてしまったり、届かなかったりと悪戦苦闘。パラリンピックの選手達は利き手以外でボールを操作していることを知ると、大変驚いていました。また、逆境をはねのけて挑戦し続ける選手達に尊敬の念を抱き、「自分達もあきらめずに挑戦し続けていきたい」という感想を残しました。



校長 入江 明子

## 池尻小学校

走高跳とハードルのスペシャリストをお迎えして、子ども達は次のようなことを教えていただきました。スポーツは、体を動かすという人間の本源的な欲求に応えるとともに精神的な充足感や楽しさ・喜びをもたらし、人々が生涯にわたり心身共に健康で文化的な生活を営む基盤となるものであるということです。その喜びが、人々を勇気づけ、お互いを結び付けることにより、希望を生み出し、多様性、寛容、公正さの尊重を促す可能性になるということです。



校長 後藤 真司

## 笹原小学校

スポーツの魅力を感じながら楽しく学べる「東京2020算数ドリル」の配布式では、オリンピック・パラリンピアンから6年生にドリルが手渡されました。子ども達は、一人一人名前を呼ばれて受け取りに行くので、わくわくドキドキ。ドリルを手にして満足な様子でした。



東京2020算数ドリル配布式

「馬!ふれあい出張授業」では、1・2年生が馬に関する講義を聞き、馬との触れ合いや馬運車見学をしました。また、休み時間には全学年の児童が、校庭での馬の疾走の様子や演技の披露を見ました。



馬ふれあい授業

## 玉川小学校

校長 飯田 泰三

6月にオリ・パラデーとして、オリンピック・パラリンピックの公式動画を全学級で視聴しました。実際に観戦に行くことはできませんでしたが、映像を通じて日本での開催を身近に感じることができました。その日、子ども達は、給食でインドネシア料理を食べ、外国の食文化を味わいました。9月には、地域の方をゲストティーチャーに招き、箏の演奏を体験しました。日本の伝統文化にも触れる機会になりました。



オリ・パラの動画を全学級で視聴



インドネシア料理 ナシゴレン



地域の人と一緒に箏体験

## 京西小学校

校長 菅谷 万里子

京西小学校は、オリンピック・パラリンピック教育アワード校になり、豊かな国際感覚の醸成を目指して教育活動を推進してきました。外国人講師を招いて英語を使いながら学ぶラグビー教室や、オーストラリアの学校との交流会、アメリカ合衆国選手団へのビデオ応援メッセージ作成など、コロナ禍で制約のある中でしたが、直接またはオンラインでの交流を通して、児童の未来へとつながる学びを得ることができました。



外国人講師によるラグビー教室



アメリカ合衆国選手団応援メッセージ作成



オーストラリア5年生との交流会

## 二子玉川小学校

校長 小菅 かな代

「ボランティアマインド」の育成として、月に1回の地域清掃「クリーンタウン作戦」や児童会による募金活動を実施してきました。また「障害者理解」を深めるために聴覚障害者、視覚障害者を講師に招いた授業、点字体験、手話体験、車いす体験などの授業を実施しました。「スポーツ志向」の育成としてオリンピックやパラアスリートによる授業の実施、「日本人としての自覚と誇り」の育成に向けて箏の体験授業などを実施しました。



月に一回の地域の清掃「クリーンタウン作戦」



パラ水泳選手による授業



和楽器（箏）の学習

## 八幡小学校

校長 峯岸 敦子

世田谷区がアメリカ合衆国のホストタウンとなったことで、アメリカ合衆国選手の方々に向けて応援ビデオと横断幕の作成をするチャンス、世田谷区教育委員会からいただきました。「豊かな国際感覚の育成」の絶好の機会として、子ども達にその話をすると、たくさん子ども達が名乗りをあげました。英語が得意な人はスピーチで、デザインが得意な人は横断幕のレタリングで、応援の気持ちを表現しました。



## 奥沢小学校

校長 山口 信忠

本校では、アスリートを招き、ラグビーや野球、かけっこ・ハードル走、車いすテニス、車いすラグビー、ボッチャなど、オリンピック・パラリンピック競技を含む体験をする機会を得ました。競技体験や、アスリートとの交流を通して、児童はスポーツへの関心を高め、アスリートの努力や競技を支える人の活躍を知ることができました。その他に、地域の方と一緒にブラインドウォーク体験や花植え活動、地域清掃活動などを行い、ボランティアマインドを培いました。



地域清掃の様子



ラグビー教室の様子



車いすテニス体験の様子

## 尾山台小学校

校長 竹内 明子

令和2・3年度連続の「オリンピック・パラリンピック教育アワード校」として、全校体制で取り組んでいます。各学年に様々な種目のアスリートを招聘し、「人としての生き方を考える特別授業」のほか、「各国の文化を学ぶ国際交流や食育」、「スポーツに親しむ体験授業」などを行っています。日常の授業でもオリンピック・パラリンピックに関連付け、学びを広げ、深めることで、子ども達は楽しくワクワクと取り組んでいます。



FC 東京のサッカーコーチと体験授業（けやき学級）。



東京2020の騎手でパラ卓球アスリートの岩瀬幸洋選手と卓球体験。



本校名物、月に1回各国の料理を楽しむ「オリパラ給食」。その国の音楽も流します。

## 東深沢小学校

校長 佐々木 克二

車いすバスケットボール選手として世界選手権2回、パラリンピックにも2回出場経験のある岩野 博さんをお迎えして、「なぜ車いすバスケットに挑戦しようとしたのか」「どのようなリハビリを経験し、練習に取り組んだのか」を教えていただきました。また、実際に車いすに乗って全員がドリブルやシュートの体験をしました。想像をはるかに超える体験を通して、夢と希望をもつことの素晴らしさを教えていただきました。



## 東玉川小学校

校長 菅原 展生

本校では、車いすバスケットボール、ブラインドサッカー、パラ水泳、サッカー（日テレ・東京ヴェルディベレーザ）などの選手である、オリンピック、パラリンピアンとの交流を行ってきました。選手の皆さんのこれまでの経歴や経験を聞いたり、一緒に体を動かす体験を通したりしたことで、よりオリンピックやパラリンピックに対して興味をもつとともに、スポーツに親しむことができました。選手との交流は最高の体験で、大切な思い出です。



「本物のメダルだ。すごいね。」



車いすバスケットボール体験



小山選手とタッチ

## 桜町小学校

校長 深尾 剛

アスリートとの交流を通して、スポーツへの興味・関心を深めるとともに、将来どのような大人になりたいのかを考えました。「自分との約束を守る」、「ワクワクすることを楽しむ」などのアスリートの言葉を受け、自分自身の考えを深めました。

オリ・パラデーには、オリンピック・パラリンピック集会をオンラインで行いました。体育委員会がロイノートで動画を作成し、種目紹介、バリアフリー、ユニバーサルデザインなどについて発表しました。



ハンドボール永島英明選手との交流



体育委員会によるオリパラデーの集会

## 九品仏小学校

校長 船越 恵理子

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、パラスポーツ体験やアスリートとの交流を行いました。また、「馬!ふれあい出張授業」の実施に加え、「文化プログラム・学校連携事業」の指定を2年間にわたって受け、茶道・華道・和太鼓・落語・狂言等の文化・芸能体験教室、オリ・パラ給食を実施しました。「世界ともだちプロジェクト」の一環として「中国ランタンフェスティバル」への参加やオーストラリア大使館との交流等、児童の心に残る体験活動を実践しました。



パラ競技体験授業「車いすバスケットボール」



パラ競技体験授業「ブラインドサッカー」



校庭を馬が走る!「馬ふれあい授業」

## 瀬田小学校

校長 白鳥 聡

瀬田小学校は、地域の東京世田谷ロータリークラブと連携をして、平成28年度から令和元年度までの4年間、車いすバスケットボール選手 根木慎志氏(H28)、菊池隆朗氏(H29~R1)をお迎えしました。車いすリレー、車いすバスケットボールの体験授業や選手の話を通してパラリンピックスポーツの魅力や選手の話を通してパラリンピックスポーツの魅力や選手の話を通してパラリンピック競技大会の開催に向けて、障害とは何か、バリアフリーとは何かについて考えるきっかけとなりました。



## 等々力小学校

校長 平間 利明

リオデジャネイロオリンピックの閉会式に出演したダンサーの方を招き、子ども達にダンスの指導をしていただきました。短い時間にもかかわらず、ポイントを絞った指導のおかげで、皆がかっこよく踊ることができました。「オリンピックの会場に立ったときの気持ち」「ダンスの上達の仕方」「練習でつらかったこと」の話もしていただき、夢に向かって努力を続けることの素晴らしさなど、多くの刺激を受けることができました。



## 用賀小学校

校長 青鹿 和裕

本校では、委員会活動として「オリ・パラ委員会」を設置し、集会やポスター掲示を通して、オリンピック・パラリンピックへの理解を深めるとともに、「スポーツ志向」に重点を置いて取組を重ねてきました。朝に校庭を走る「朝ラン」、水泳記録会、駅伝大会、オリンピック・パラリンピアンや近隣大学の駅伝選手との交流等の活動を通して、スポーツへの関心を高め、フェアプレーやチームワーク、夢や目標に向かって努力する大切さを学ぶことができました。



水泳記録会の様子



駅伝大会の様子

## 中町小学校

校長 児島 信郎

本校では、様々な動きを体験する活動「中町ランドウィーク」を毎年6月に設定しています。子ども達は、中休み、昼休みに学年ごとに割り当てられた場所を順番に回り、意欲的に運動に親しんでいます。

オリ・パラ交流では、チアリーディングの皆さんと交流をしました。迫力ある演技を間近で披露していただき、子ども達は、競技者を励ます力、元気を送る力を肌で感じられたことと思います。



「中町ランドウィーク」投げる運動のコーナー



迫力のチアリーディングを披露していただきました

## 玉堤小学校

校長 伊藤 修久

オリンピック選手との交流として、マラソンのケニア代表サイラス・ジュイ選手をお招きし、お話を伺いました。走り方のご指導もいただき、速く走る方法や走る楽しさを教えていただきました。

パラリンピックへの理解を深めるために、ボッチャの日本代表選手をお招きし、4年生がボッチャの体験を行いました。知れば知るほど奥が深く楽しいスポーツであることを感じ、夢中になって取り組んでいました。



サイラス・ジュイ選手との交流



ボッチャ体験の様子

## 烏山小学校

校長 廣石 雄司

烏山小学校の隣には、オリンピック選手も練習に使用する第一生命グラウンドがあり、毎年、そこで児童が持久走大会を行います。また第一生命陸上部の選手が「走り方教室」を行い、よいフォームで走ることや走る楽しさを教えてくれます。オリ・パラデーの取組では、オリンピックやパラリンピアンとの交流、アメリカ合衆国大使館との交流、ボッチャ体験、車いすやアイマスク体験を行い、スポーツへの親しみや、障害者理解、豊かな国際感覚などを育てています。



オリンピックの方からよいフォームを学びました。



車いす利用者と介助者を体験しました。



馬について学んだり、触れ合ったりしました。

## 塚戸小学校

校長 長谷川 和恵

「あすチャレ!」事業に、体育館で6年生、リモートで1~5年生が参加しました。講師に元車いすバスケットボール選手の根木慎志さんを招き、夢を追い続けることや自分を信じ抜くことなど、自身の体験を交えて教えていただきました。

また「オリ・パラ集会」では、調べたことの発表や児童が作成した「オリ・パラ競技を実際に体験したビデオ」の鑑賞をして、オリンピック・パラリンピックへの関心を高めました。

児童が調べたものをまとめた掲示物を作成し、校内に展示しました。



根木慎志さんと交流したあすチャレの取り組み



教室から集会に参加する児童

## 祖師谷小学校

校長 篠原 和也

日テレ・東京ヴェルディベレーザの中里優選手をお招きし、サッカーに対する考え方や日頃の生活など、様々なことを全校児童に向けて、お話していただきました。また、リフティングやキックの技術などのデモンストレーションをしていただきました。高学年児童は、実際にゲームをするなど、体験的な活動を通して交流を深め、スポーツの素晴らしさを感じました。

中里選手のサッカーに対する熱い想いだけでなく、人間的な魅力まで知ることができました。



実際にゲームをして楽しみました。



体育館で集合写真を撮りました。



体育館でリフティングを見せてもらいました。

## 砧小学校

校長 神田 光子

砧小学校では、7月2日にオリ・パラ集会を行いました。運動委員会が「オリンピック・パラリンピックについて詳しくなったり、開催が楽しみになったりしてほしい。」という思いをもち、「オリ・パラ〇×クイズ」を考え、放送しました。集会に参加していた児童は、クイズに積極的に答え、オリンピック・パラリンピックに興味をもったと同時に、知らなかったことを知ることができて、開催を楽しみにしている様子でした。



「オリパラ集会」の様子



## 明正小学校

校長 栗林 大輔

オリンピック・パラリンピック教育の一環として、令和元年度はアーティスティックスイミング選手、令和3年度は東京2020オリンピック競技大会で新種目となった空手の選手をお招きしました。空手教室では「空手道」について講演していただくとともに、実技指導や迫力のある型を披露していただき貴重な体験をしました。またオーストラリアの日本人学校と交流し、互いの文化や習慣を伝え合いました。スポーツへの親しみや日本文化への理解、豊かな国際感覚などを育むことができました。



アーティスティックスイミング選手



新種目空手の迫力のある形



オーストラリア現地校との交流



## 烏山北小学校

校長 畑 和男

新体操、ウエイトリフティング、陸上競技のやり投・三段跳・短距離走のオリンピックや現役選手をお招きし、用具を見せていただいたり、実演をしていただいたりしました。子ども達は、日本を代表する技術を目の当たりにして、スポーツへの興味・関心を深めました。

国際パラリンピック委員会公認教材「I'm POSSIBLE」を活用して、競技や選手に関心をもち、公平な社会や努力の素晴らしさについて考えました。共生社会の実現に向けて、誰もが気持ちよく過ごせる工夫を話し合いました。



パラリンピック教育授業用資料



秋山エリカさん（新体操）、糸数陽一さん（ウエイトリフティング）



左から竹田一平さん、斉藤真理菜さん、山下祐樹さん（陸上競技）

## 八幡山小学校

校長 山村 晃一

八幡山小学校では、様々な取組を行ってきました。パラリンピアンをお招きした特別授業では、スポーツへの興味・関心を高めるとともに、障害者理解を深めることに繋がりました。本校の「ハチリンピック運動会」では、開会式で聖火ランナーが手作りの聖火台に火を灯し、会を盛り上げました。校内にオリンピック・パラリンピックに関する掲示物を飾ったり、オリ・パラクイズを継続したりする等、児童の興味・関心を高めることができました。



オリパラに関する掲示物



車いすバスケットボールの体験



運動会での聖火ランナーによる聖火台点火

## 芦花小学校

校長 石田 孝士

バルセロナオリンピック出場(陸上男子4×100mリレー)経験をもつ、法政大学経済学部教授杉本龍勇さんを講師にお招きして、前半は走り方教室、後半は「夢や目標の大切さ」について講話をいただきました。子ども達は、目線や腕の振り方・着地の仕方など、様々な点を意識しながら良い走り方を目指して練習しました。夢についての講演後は、自身の夢や目標と改めて向き合おうとする子ども達の姿が見られました。



「夢や目標」の大切さについての講話を聞いている様子



ポイントを意識して歩いたり、走ったりしている様子



走り方についてアドバイスをもらっている様子

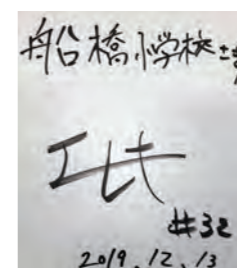
## 船橋小学校

校長 奥長 英樹

船橋小学校では、ボランティアマインドを育むため、挨拶運動に参加し、挨拶による様々な人との思いやりのある関わりを日常化することができています。また、多くのパラスポーツについて学習し、車いすバスケットボールを体験しました。差別や偏見をなくし、東京2020パラリンピック競技大会に興味関心をもつ児童が増えました。ダンスをおしえてもらったり、登校後にランニングや縄跳びをしたりすることで、児童は体を動かすことの良さを感じています。



ダンス講習会の様子



車いすバスケットボール選手のサイン



車いすバスケットボール体験の様子

## 砧南小学校

校長 廣瀬 維謙

本校では、「GLOBALスクール」の研究開発校として、グローバル社会を生き抜く主体的な子どもの育成を、オリンピック・パラリンピック教育を通して行いました。選手村の工夫について考えたり、招致活動から、日本のよさを考えたりしました。過去のオリンピック・パラリンピック競技大会の日本人選手の活躍を校内に掲示し、大会を身近なものにしました。また、オリンピック・パラリンピック競技大会に出場した選手の方と交流し、スポーツの楽しさや大会の素晴らしさなどを共有することもできました。



校内掲示



オリンピックとの交流

## 給田小学校

校長 飴家 純

給田小学校は、平成27年度からオリンピック・パラリンピック教育推進校として、オリンピックを招いての「夢・未来プロジェクト」をはじめ、毎月の「元気っこタイム」でオリンピック・パラリンピックについての解説やアスリートの紹介を実施しました。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催された今年度は、アメリカ合衆国ホストタウンの取組で横断幕を作製し、選手団の皆さんに歓迎の気持ちを伝えました。



アメリカ合衆国選手団歓迎の横断幕



車いすバスケット体験



走力の向上について

## 山野小学校

校長 薄井 康裕

4年生は、プロ野球読売巨人軍の選手を講師にお招きし、ベースボール型のゲームを行いました。講師の方々の指導で、野球の楽しさに触れることができました。

1・2年生は、オリンピックの歴史や、パラリンピックの競技の工夫などについて調べ学習を行いました。また、委員会活動では運動委員会が校内に世界の国々の国旗を飾り、学校全体で東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に興味・関心をもてるようにしました。



ジャイアンツの選手と交流する様子



子ども達の調べた世界の国旗

## 千歳小学校

校長 石川 淳

本校では、オリ・パラウィークを設けました。1年生から3年生は、パラリンピック競技である「ボッチャ」の体験をクラスで行いました。5年生はパラリンピアンである永尾嘉章選手をお招きし「車いす陸上体験」を実施しました。さらに、オリンピック・パラリンピック競技を体験するだけでなく、文化プログラムとして、6年生は「役者になって大ひょげん」、4年生は「伝統文化の折り紙」を体験しました。全学年でオリンピック・パラリンピックへの理解、文化の学びを深めることができました。



全学年がオリ・パラについて学ぶ一週間を開催



6年生 (役者になって大ひょげん)



5年生 車いす陸上体験

## 喜多見小学校

校長 小俣 和也

本校では、「夢・未来プロジェクト」や「世界ともだちプロジェクト」、「パラリンピックテレビ観戦」等を通じて、オリンピック・パラリンピック教育で育成すべき5つの資質にバランスよく取り組んでいます。特に、「スポーツ志向」には力を入れ、オリンピックメダリストやパラリンピック選手との直接交流から、スポーツの素晴らしさを実感し、夢や希望を持ち続けるような児童の育成を目指しています。



夢・未来プロジェクトによるパラアスリートとの交流。



オリンピックメダリストとの交流

## 武蔵丘小学校

校長 濱辺 理佐子

アテネ五輪陸上競技男子4×400mリレーに出場した伊藤友広選手を毎年お呼びして、走り方を教わっています。また、パラリンピアン田口亜希選手もお呼びして、障害について学びました。

東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会の栗原裕二さんをお呼びして、大会を支える人達の苦労や思いをお話していただきました。

「世界ともだちプロジェクト」では、駐日パレスチナ常駐総代表部の参事官にお越しいただき、パレスチナの実情についてお話していただきました。



パレスチナを知ろう



伊藤友広選手による「かけっこ教室」



障害のある生活を学ぶ

## 希望丘小学校

校長 戸田 靖

4年生の総合的な学習の時間で「さまざまな人と共に生きる」の学習を行いました。単元の導入で国際パラリンピック委員会公認教材の「I'm POSSIBLE」の動画を活用し、障害がある人々も夢や希望をもち、生きていることを伝えました。また、視覚障害者の方に日々の生活の様子や困難さについてお話しいただきました。さらに、地域人材を活用し、ボッチャ体験も行いました。学習を通して児童の障害者への理解が深まり、生活の中で自分にできることを考える姿が見られました。



ボッチャ体験の様子



車いす体験の様子

## 千歳台小学校

校長 寺村 尚彦

千歳台小学校では、オリ・パラデーでは、車いすバスケットボールのパラアスリートを招いて5年生が競技の体験をしました。車いすを操作するだけでも大変なのに、同時にボールを扱うことに児童は驚いていました。

2年生は、「馬!ふれあい出張授業」を通して、馬に興味をもちました。馬の大きさや走る姿に驚き、ポニーと触れ合うことができました。

また、児童が世田谷区のボッチャ大会に参加して、パラスポーツの楽しさを味わいました。



馬!ふれあい授業の様子

## 下北沢小学校

校長 大字 弘一郎

毎年スポーツ選手を招き、夢や目標をもって努力することの大切さなどを学び、本物のメダルに触れるという貴重な経験をしました。高学年は、パラリンピック競技についてまとめ、全校児童に紹介しました。新たに知ることができた競技に興味を広げ、競技を行うための細やかな配慮や多くのサポートがあることを知り、今後の社会の在り方について考えました。今夏、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会テレビ観戦等で競技を目の当たりにし、改めて競技への興味・関心を高めました。



すごい金メダルだ!



ボッチャに挑戦!



「ひろがれせたがや」レッツダンス!

## 太子堂中学校

校長 小林 智明

本校では、オリ・パラデーの取組として、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会観戦予定であった馬術について学び、考えました。世田谷区がYouTubeにアップしている「東京2020大会に向けて～馬術競技を見よう!」を視聴し、馬術競技の種類やルール等を学びました。そして、印象に残ったことや考えたことなどをワークシートにまとめました。その後、オリンピック・パラリンピックの理念について班で話し合い、考えを深めました。



馬術の動画を視聴している様子です。



班で話し合った内容をクラス全体で共有しています。



オリンピックの理念について話し合っています。

## 桜丘中学校

校長 加藤 敏久

本校では様々なオリンピック・パラリンピック教育に取り組んできました。

オリンピックを招いての授業では、普段あまり観たり、触れ合ったりすることができないスポーツライミングを体験しました。

今年(令和3年度)の夏休みは、全学年で人権教育とオリンピック・パラリンピック教育とを関連付けた調べ学習に取り組み、各自のiPadを活用してレポートを作成しました。

夏休み明けは、生徒会がリポーターとなり、オリンピック・パラリンピック会場となった馬事公苑の紹介を、本校と群馬県利根郡の川場小学校にライブ配信しました。また、区内の小・中学生も視聴ができるよう、紹介動画を作成しました。



馬事公苑リポート



夏休みのオリパラ課題



オリンピックによる授業

## 松沢中学校

校長 山村 恵子

アメリカ合衆国選手団応援メッセージ動画の作成を通して、豊かな国際感覚を育成しました。ボッチャ交流会への参加では、障害者理解を深めました。また、スポーツの素晴らしさや楽しさをより知ることができるよう、オリンピック・パラリンピックに関する調べ学習を行い、オリ・パラ新聞やオリ・パラクイズとして表現しました。世田谷クリーンアップ作戦への参加は、生徒一人一人のボランティアマインドを高める機会となりました。



世田谷区クリーンアップ作戦



アメリカ合衆国選手団応援メッセージ動画



ボッチャ交流会

## 駒沢中学校

校長 榎田 和明

新体操元日本代表で、北京・ロンドンオリンピック競技大会に出場した田中琴乃さんを講師にお招きし講演会を開催しました。当初の予定より9ヶ月延期してやっと実現した講演会は、華麗なリボンの演技から始まりました。「最初から新体操の才能があったわけではなく、地道な努力の積み重ねが、日本代表やオリンピック出場に繋がっている。」「昨日の自分に負けない。」や「人のため、は大きな力。」など体験に基づいた貴重なお話をいただきました。



## 北沢中学校

校長 小松 昌之

部活動の中でパラリンピック種目ボッチャ体験を行いました。性別の違いや体力の差、障害の有無に関わらず、誰もが同じ条件で競技できることで、運動が苦手な子どもでも積極的に取り組む様子が見られました。また、日頃行うことのない種目を通して、戦術やより良い方法を模索する中で多くの話し合いが生まれました。実際に競技を体験することで、パラリンピック競技の難しさや奥深さに気付くきっかけになりました。

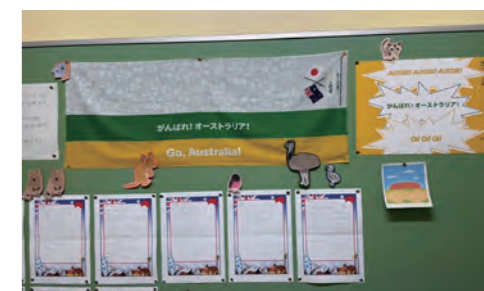


## 緑丘中学校

校長 高山 知機

世田谷区が東京2020オリンピック競技大会でアメリカ合衆国のキャンプ地になりました。緑丘中学校では、アメリカ合衆国の選手にエールを送る取組として、ホストタウン応援リレーメッセージ動画を撮影しました。

その他にもオーストラリア・オリンピック・コネクト・プログラムともだち2021を活用し、現地の学生と国際交流を行っています。今後は、Zoomによる交流会を予定しており、教科「日本語」で学んだ内容を基に、日本文化について英語で発表する活動を行います。



オーストラリア大使館より頂いたスポーツ応援タオルとボード



現地校生徒からの手紙

## 駒留中学校

校長 吉田 秀敏

オリンピック・パラリンピック教育の一環で障害者理解を目的に日本補助犬協会より講師をお招きしました。

生徒達は、補助犬を取り巻く法整備の話や、盲導犬・聴導犬・介助犬の実際の仕事の様子を見たりすることで、補助犬についての理解を深めることができたようです。また、そうした補助犬の普及がまだまだ不足していることから、サポートを必要とする方達に、自分から声をかけて手伝いをする必要性をお話しされました。



## 梅丘中学校

校長 岩崎 紀美子

令和2年10月29日、リオデジャネイロパラリンピック車いすバスケットボール代表選手で、長年世界選手権に出場している土子大輔氏を本校にお迎えし、「夢を実現する力」をテーマに講演会を行いました。プロフェッショナルなドリブルやシュートの実演に生徒達はとても感動した様子でした。いつも支えてくれる周りの人達への感謝の気持ちを忘れないことが自分にとっての大義であるとお話して下さったことは生徒達の心に深く刻まれたことと思います。



代表生徒も車いすのプレーを体験。



車いすの構造を説明されました。

## 桜木中学校

校長 大塚 洋一

車いすバスケットボールの体験。慣れない生徒は車いすでの移動だけでもたいへんでした。この時、「できないことを数えるより、できることを数えよう」とゲストの方から教えられました。また、元Jリーガーのラモス瑠偉氏の講演。「夢をあきらめない」強い気持ちで努力することによって、道が開けるとお話しいただきました。そして「子ども大会」でのボランティア。ゲームに参加する小さい子どもに、中学生が優しくお手伝いしました。



車いすバスケットボール体験



「子ども大会」ボランティア



元Jリーガー・ラモス瑠偉氏講演

## 富士中学校

校長 前田 浩

東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、その理念に関する理解を深める取組を行ってきました。令和3年度には、SDGsプロジェクトで集まったリサイクルの衣類と文房具を学区内にあるアンゴラ共和国大使館へ寄付しました。大使から「富士中の生徒の手によって、アンゴラの子供がよい教育を受けるための手助けが進んだことに大きな意味がある。」との話をいただき、他国の状況に広く目を向けて行動を起こす大切さを、生徒達は感じる事ができました。



大使の部屋にて

## 弦巻中学校

校長 加藤 ユカ

オリンピック・パラリンピック教育を通して育成すべき5つの資質の中で、「スポーツ志向」の取組として、本校卒業生でもある柔道の太田将平選手をはじめ、オリンピック・パラリンピアン等のアスリートを招いての講演会や体験授業を行いました。また「ボランティアマインド」「障害者理解」の取組として、令和3年度は東京2020大会の馬術会場となる上町周辺の地域清掃活動に全校生徒と保護者で取り組みました。東京2020大会に出場したパラリンピック選手を招いた講演会や体験授業、福祉体験授業を行いました。



うままちプロジェクト With 弦巻中学校地域清掃



アテネオリンピック・オリンピックによる体験授業



東京パラリンピック・パラリンピアンによる体験授業

## 奥沢中学校

校長 木村 朱美

本校ではオリ・パラデーにパラスポーツをテーマにして講演と体験に取り組んで来ました。  
最初の2年間は障害者アスリートとして水泳の木村敬一さん、陸上の内田勝久さんをお招きして講演をしていただきました。3年目からは日本体育大学の野村一路教授のゼミナール協力の下に実際の競技体験としてポッチャと、車いすバスケットボールを2年間ずつ行ってきました。生徒はパラスポーツの楽しさを味わうことができました。



車いすバスケットボール1年生



車いすバスケットボール2年生



車いすバスケットボール3年生

## 八幡中学校

校長 山田 勝基

本校のオリンピック・パラリンピック教育の取組では、「障害者理解」に重点をおき学習を進めてきました。体験学習では令和元年度は車いすテニス、令和2年度は車いすバスケットボールの講師の先生方にご来校いただき、実際に競技用の車いすで競技の体験をさせていただきました。車いす操作の難しさ、困難さやアスリートの方々の凄さを感じました。同時に障害のある方々と共に生活する大切さを考える機会となり、大変充実した取組となりました。



実技の前の講演の様子。(平成31年度実施)



参加した生徒全員と記念写真です。(令和2年度実施)



講師の先生の実演。(令和2年度実施)

## 玉川中学校

校長 奥平 雄二

サッカー国際審判員、オリンピック審判員の講演では、スポーツの理念やリスペクト精神、夢をあきらめないことについて話を伺い、自身のこれからの在り方を考える機会をもつことができました。

プロライフセーバーによる実演、実技体験、講演を受けて、ライフセービングの理念、命の大切さについて理解を深めました。

外国からの留学生を招聘し、国際理解の授業を行いました。また、アメリカ合衆国大使館員の講演によって、アメリカ合衆国の方達の生活、文化、社会や自然環境に触れることができました。



留学生を迎えて



オリンピックグッズを間近



ライフセービング体験

## 瀬田中学校

校長 本橋 智博

本校では、アスリートをお招きしての講演会や各教科等での学習で「スポーツ志向」「障害者理解」「ボランティアマインド」の育成を中心に学習を進めてきました。今年度は、「豊かな国際感覚」を重点としています。

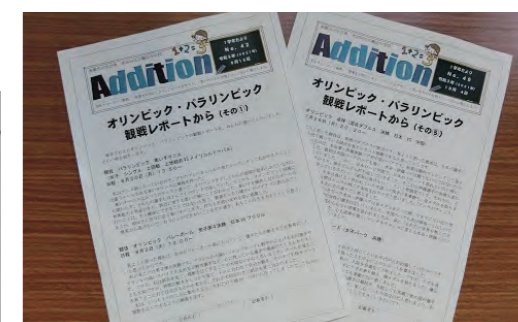
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会前には、観戦予定の馬術競技だけでなく、開催される競技について理解を深めました。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会終了後に作成した観戦レポートから、大会への興味・関心が高まっていたことがよく分かりました。



世界ともだちプロジェクト担当国 国旗



アスリート講演会



1年生学年通信(観戦レポート紹介)

## 深沢中学校

校長 佐野 晴子

本校では、オリンピック・パラリンピック教育として、パラリンピック競技・パラスポーツである「ボッチャ」と「サウンドテーブルテニス」を保健体育の授業で実施しました。授業では、選手の映像や写真を観て学習したり、アイマスクを着け、視覚障害の方の体験をしたりしました。その結果、生徒が自分達にできることを考えるきっかけとなりました。競技においては、仲間と協力しながら意欲的に取り組む姿がみられました。また、オリンピック・パラリンピックへの興味・関心をもつ生徒が増えました。



ボッチャ



サウンド卓球のアイマスクをつけたところ

## 尾山台中学校

校長 福山 隆彦

男子車いすバスケットボールの元日本代表土子大輔さんにお越しいただき、「夢を諦めないことの大切さ」について、ご自身の体験を基に講演していただきました。また、実際に車いすバスケットボールの実演やフリースロー勝負などの交流を通して、パラリンピアンの方の凄さ、様々な違いを認めることの大切さを学ぶ事ができました。障害をひとつの個性として認め、多様性を尊重し合える社会を実現するためのきっかけとなりました。



## 用賀中学校

校長 草開 宣晶

用賀中学校では、オリンピック・パラリンピック教育として、ようがの学び舎で合同のオリンピック開催国給食を行いました。カナダの給食では「メープルトースト・サーモンチャウダー・プーティン」が献立でした。また、日本文化を学ぶために、雅楽師の東儀秀樹さんにお越しいただき講演と雅楽の生の演奏を聴くこともできました。保健体育の授業では、リコーブラックラムズ東京の選手にラグビーのご指導をしていただきました。



オリンピック開催国給食



リコーブラックラムズ東京の選手によるラグビーの授業



東儀秀樹さん講演会

## 東深沢中学校

校長 本田 仁

日本ボッチャ協会やパラアスリートのご協力のもと、主にパラスポーツを通じてスポーツ志向や障害者理解、ボランティアマインドの育成を図りました。具体的には、ボッチャ競技の体験や応援観戦、パラリンピック競技の調べ学習など、特別支援学級の生徒や保護者、地域の方々とも交流を深めました。その他にも、茶道体験、お琴体験、ALTとの英語学習など、日本の伝統文化や他国の文化にも触れ、学びを深めることができました。



日本ボッチャ協会によるボッチャ競技体験



パラ競泳成田真由美選手による講話



ボッチャ競技応援観戦



## 砧中学校

校長 建部 豊

本校では、オリ・パラデーにおいて、共通課題に取り組むことで、ボランティアマインドの精神を養いました。またリオデジャネイロ2016オリンピック競技大会に出場した区内在住の選手と交流を行い、スポーツの素晴らしさを実感することができました。

特別支援学級においては、パリ2024パラリンピック競技大会を目指すボッチャの選手との交流や、地域の緑化活動などを通して、自己の在り方・生き方を考え、自分の気持ちを相手に伝えることなどに取り組むことができました。



## 烏山中学校

校長 榎本 圭志

平成30年度は車いすバスケットボール男子元日本代表の三宅克己氏、令和元年度は北京オリンピック体操男子日本代表坂本功貴氏をお招きし、体験を含めた講演会を行いました。講師の方々からは、競技の楽しさや難しさ、夢をもつことや努力することの大切さなどをお話いただきました。生徒達は、実際に車いすバスケットボールを体験し、パラスポーツの理解を深めることができました。また、都立久我山青光学園との交流を継続的に行っており、障害者理解に取り組んでいます。



平成30年度オリパラ講演会の様子



平成30年度オリパラ講演会実演の様子

## 千歳中学校

校長 山本 武

「スポーツ志向、障害者理解、ボランティアマインド」

これが千歳中のオリンピック・パラリンピック教育の重点です。これから多様な人とのつながりは重要なことから、人権教育や社会貢献の取組を進めました。パラスポーツ、健康教育、ボランティア活動を行い、日常生活と関連させました。本校3年生の意識調査で「人の役に立つ人間になりたい」という質問の肯定的な回答は、全国・東京都の値を大きく上回り、顕著に成果が表れています。



パラ卓球講演会（岩淵幸洋選手）



フィールドキャストとして活動した校長



全校で取り組んだチアダンス

## 芦花中学校

校長 井尻 郁夫

芦花中学校では、パラリンピック種目の体験を含む講演と、有名アスリートの講演を実施しました。パラリンピック種目では車いすバスケットボール、ブラインドサッカーの選手に来ていただきました。生徒が実際に競技を体験し、その特性や魅力を感じることができました。また、講演では競技についてだけでなく人間としての生き方、あり方を学ぶことができ、学校生活や進路選択に生かすことができました。



車いすバスケットボールの体験



ブラインドサッカー®の体験

## 上祖師谷中学校

校長 柄澤 茂之

アーティスティックスイミング元日本代表リオデジャネイロオリンピック銅メダリストの三井梨紗子さんをお招きし、全校生徒を対象に「メダル獲得までの軌跡」というテーマで講演会を実施しました。生徒達は、オリンピックからの話を真剣に聞き、メモを片手に多くのことを吸収しようとしていました。講演会に加え、3年生の代表クラスでリズム水泳の体験授業も行い、最後は三井さんの生演技を身近で見る貴重な体験をしました。



## 砧南中学校

校長 松永 かおり

本校では、オリンピック・パラリンピックの学習をする日を、「オリ・パラデー」として設定しています。その日は、世界ともだちプロジェクトの国々を調べて発表する学習、オリンピック・パラリンピック選手や「日本のパラリンピックの父」と呼ばれる中村裕さんの取組について学習しました。また、ゴールボール元日本代表安達阿記子選手の講演を聞き、実際にアイマスクをして「ゴールボール体験」を行いました。



ゴールボール体験の様子



安達阿記子選手の講演の様子

## 喜多見中学校

校長 紺谷 祥一

「ブラインドサッカー」では、視覚を遮断した状態で動く体験を通して、「障害理解」「個性」「コミュニケーション」「チームワーク」「チャレンジ精神」「ボランティア」の観点で学習しました。また、駒澤大学空手道部の選手を講師に、東京2020オリンピック競技大会の種目である「空手」の模範演技、突きや蹴りの体験をしました。生徒から「これから空手の競技を見る時、今回の体験が活かせると思います。」との感想がありました。



「空手」 突きの体験



ブラインドサッカー体験



「空手」 演武の模範演技

## 三宿中学校

校長 牧野 英一

本校では、障害者理解やスポーツ志向を高めることを重点として、アイマスク体験やパラリンピック競技スポーツのゴールボールに取り組んでいます。また、学校外の人材を活用した放課後スポーツ教室（ダンスパフォーマンス教室・エンジョイスports教室・武道教室等）を行っています。さらに、スポーツクライミングウォールを体育館棟内に設置し、部活動のトレーニングや昼休みの遊び活動等に活用しています。



スポーツクライミングウォール



ゴールボール体験



ダンスパフォーマンス教室

## 世田谷中学校

校長 今田 敏弘

本校では、オリンピック・パラリンピック教育における取組として、オリンピック・パラリンピアンとの交流を実施しました。

今年度のオリ・パラデーではパラバドミントン選手2名の講話を聞き、生徒もパラバドミントンを実際に体験することで、パラリンピックへの関心を高めるだけでなく、障害者理解も深めることができました。

また、近隣の大学と連携し、大学教授によるオリンピック・パラリンピックの意義や役割、社会に与えた影響等についての授業も実施しました。



パラバドミントン体験の様子



国土館大学の先生によるオリパラ授業

## 船橋希望中学校

校長 菅野 茂男

2年生は、世田谷区がアメリカ合衆国のホストタウンになっていることから、「Welcome to SETAGAYA」というパンフレットを作り、アメリカ合衆国選手団に渡しました。

保護者から提供していただいたオリンピック・パラリンピック関係の物品を生徒玄関前に展示しました。フィールドキャストのシャツ、ピンバッジ、クレー射撃の的(クレーピジョン)を展示しました。

生徒、教員、保護者も興味津々に見ていました。

